

# 生産性向上支援訓練 「利用者の声」

## 株式会社永井製作所 様

[事業内容] 金属製品製造業（建築用鉄骨の設計・製作・施工）



くまもと

# 事業主の声

- ▶ 従業員教育の拡充と体系化、基幹システムなどのITシステム導入をいかに進めていくかを検討している中で、ポリテクセンター熊本の離職者訓練修了者への求人等を通じて接点があり、生産性向上支援訓練担当者を紹介していただきました。
- ▶ OJT主体の教育体制からの脱却と属人的業務の見直しを課題として、今回「フォロワーシップによる組織力の向上」コースを受講しました。
- ▶ 訓練を利用してみて、従業員のマインドセットをリニューアルするのに有効だと感じましたし、別部門の従業員と意見交換をすることで視野を広げる良い機会になったことが成果だといえます。
- ▶ 引き続き、実務技能などに資する訓練の実施を検討しています。



専務取締役  
永井 様



くまもと



# 受講者の声

- ▶ 講習のシミュレーションや話し合いを通じて、普段関わりの少ない部署の問題や、自部署の課題を見つめ直す良い機会となりました。他部署からの視点や行動のヒントを得ることができ大変有益でした。特に、シミュレーションによる模擬活動が有意義でした。
- ▶ 最近では、幅広い年齢層で会社の人員構成が形成されており、その中で発生するコミュニケーショントラブルや上司の能力による継承困難な問題など、自分にはない視点を周りから聞くことができました。
- ▶ 出てきていた課題について、最も重要と感じた「作業の均一化」について解決案をまとめ、上長に報告・相談し、部署内で共有しました。マニュアルの制定が必要不可欠であり、各作業の見直しと最短効率で行える方法を協議し、文面にまとめました。
- ▶ 自部署の理想形として、検査作業を「最低限の知識だけで誰でもできるようにすること」を目指し、マニュアルを作成して新人教育の負担を減らし、誰でも作業ができるようにしたいと考えています。



品質管理部 品質管理課  
重野 様



くまもと

# 受講者の声

- ▶ 業務で課題だと感じていた仕事の属人化についてグループで話し合い、業務の停滞や遅延を再認識し、効率性が低下するリスクがあることを再認識しました。また、講習を通じて「主体性」の重要性を学び、これが今後の自分の課題であると感じました。講習を受けることで、考え方ひとつで視野が広がることを実感しました。
- ▶ 普段なかなか関わることのできない方々と話すことができ、非常に良い機会となりました。同じように「属人化」の課題で悩んでいる仲間と話し合い、メンバー全員が積極的に解決策を提案し、様々な意見を聞くことができ非常に参考になりました。
- ▶ 訓練で学んだことを活かし、日頃から業務の手順書やマニュアルを作成・更新し、情報共有をしっかりとできる体制づくりを心がけています。マニュアル作成時には、自分だけが分かる資料ではなく、誰が見ても理解できる言葉選びを意識しています。
- ▶ 今後は、仕事復帰や部署異動など様々な状況でもコミュニケーションの取りやすい環境を整え、誰もが働きやすい職場づくりを率先して行いたいです。また、自分のスキルアップのために研修会や勉強会に積極的に参加していきたいと考えています。



営業部 福島 様



くまもと

# 訓練によって得られた成果

- ▶ 受講後は、ミスなどの再発防止活動や業務改善、仕組改善等の協議が活発に行われるようになり、受講前に比べ建設的な意見が出るようになりました。
- ▶ また、様々な判断を従業員自身が個々でできるようになったこと、部門や世代、業務内容に関わらず、従業員同士の会話が増えたことも受講後の成果と言えます。
- ▶ 令和5年度オーダーコースでは、生産管理分野1コース、組織マネジメント分野4コースを計画し、合計179名が受講しました。その他にも、オープンコースを多数受講しました。
- ▶ 令和6年度オーダーコースでは、生産管理分野1コース、生涯キャリア分野2コースを計画し、合計87名が受講しました。その他にも、オープンコースを多数受講しました。



くまもと